

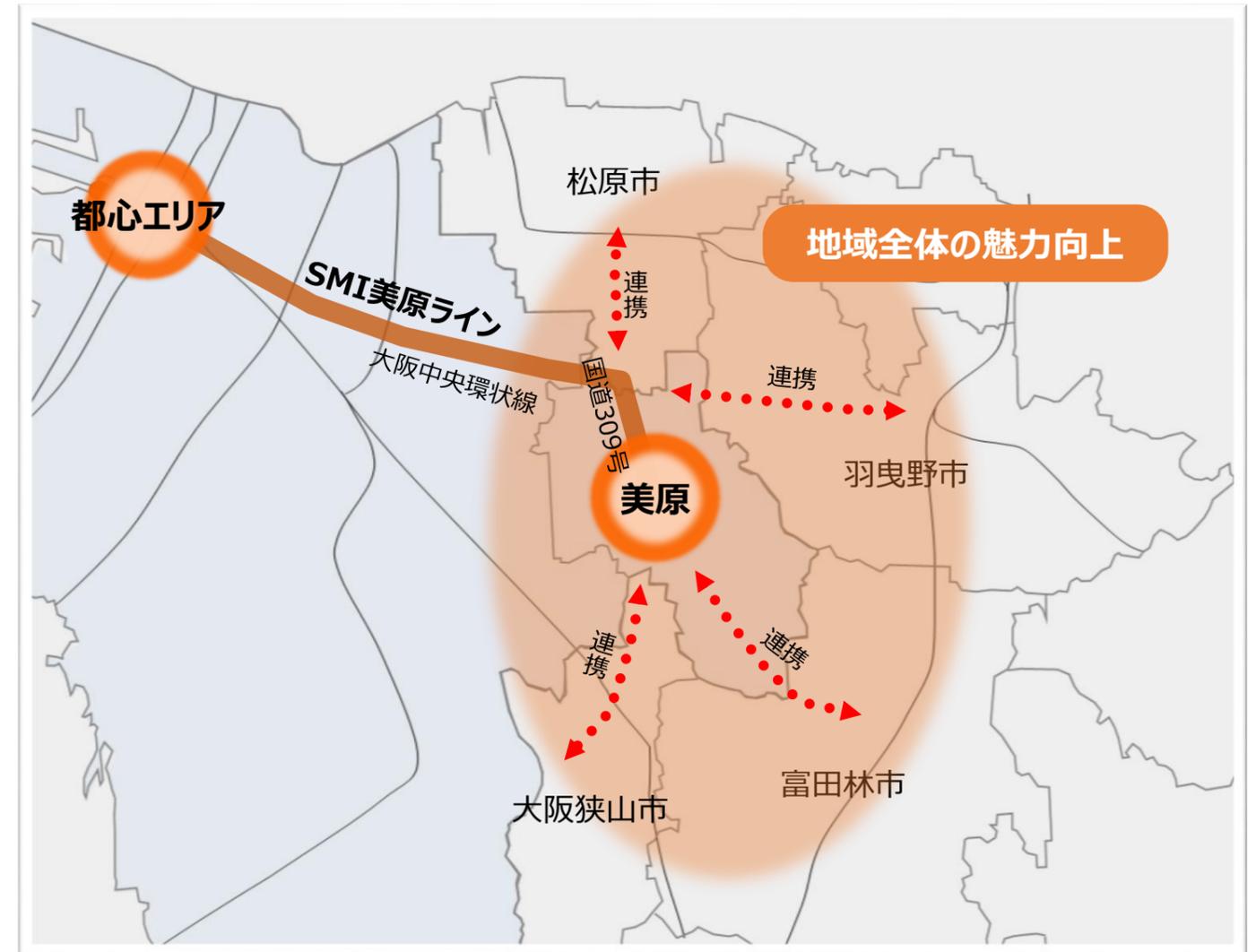
# SMI美原ラインについて

## <SMI美原ラインの意義・目的>

- 都心エリアと美原区を1本の交通機関で結ぶことにより東西方向の拠点間ネットワークを強化し、人の流れを活性化させることで賑わいを創出
- 美原都市拠点の交通結節機能により、美原区と南河内の隣接市（松原市、羽曳野市、富田林市、大阪狭山市）との繋がりを強化
- SMI美原ラインを活用し、南河内地域から関西空港や国土軸へのアクセス性を向上
- 国道309号や大阪中央環状線の道路混雑の緩和に寄与し、脱炭素化を促進



美原区を核とした周辺市との歴史的・文化的な繋がりの強化により地域全体の魅力を向上



## <SMI美原ラインのイメージ>

高い環境性能（脱炭素化）とシンボル性を誇る車両・停留施設



電動化による高い環境性能とシンボル性を誇る車両や、統一感とデザイン性の高い停留施設

定時制・速達性の高い交通システム



優先・専用レーン等により、定時性・速達性を向上させた交通システム

運行情報や乗換案内



停留所等での運行状況の発信や、車内における乗換案内など、必要な情報をわかりやすく提供

## 実現に向けた流れ

### ① 検討・調整

- 拠点間ネットワークの構築に向けて、関係者と協議・調整しながら、路線の検討などを実施

### ② 実証実験・結果分析・評価・本格導入の検討

#### ■ 実証実験（案）

#### 【検証内容】

- ① 自動車利用から公共交通への転換
- ② 需要
- ③ ルートの妥当性
- ④ 優先・専用レーンやPTPSの導入可能性
- ⑤ 人流活性化や賑わい形成への寄与

#### 【時期】

2022年度

- 実証実験の結果を踏まえ、既存路線の再編などを含めて検討

### ③ 試験導入

- 需要喚起
- 既存路線の延伸や再編などによる試験導入

### ④ 運行開始

- 道路の交通状況、BRTの需要や運行状況などを勘案しながら、関係機関等と協議を行い、優先・専用レーンの設置やPTPSの導入について調整